

## スヴァーリとの独占インタビュー（１）

### ——Svali とは何者か？

【訳者解説】すでにここで、何度かその断片を紹介した Svali の証言は、恐ろしいだけでなく、我々の知っている世界を変えてしまうほどに重要な意味をもつ。そこで更にそのいくつかを何回かに分けて紹介しようと思う。これは単に、こういう想像を絶する恐ろしい者たちがどこかに実在するらしいという話ではない。彼らは実質的に、この世界を動かしている指導者である。とすれば、証言者の Svali が本物なのかどうかが問題になる。そこでここでは、HJ Springer による *The Illuminati in America: Exclusive Interview with an Ex-Illuminati Programmer/Trainer* という 13 部からなるインタビューの第 1 部「スヴァーリについて」（スヴァーリの自己紹介の手紙）を翻訳した。スプリンガーも言っているように、スヴァーリの話は、今大量に出ている他の離脱者の話とも符合する。

また彼の言うように、虐待される者もする者も、ともにマインド・コントロールされた「悪魔的奴隷化計画の参加者」だと言ってよいだろう。ではトップに誰がいるのか？ トップにいるのはおそらく人間ではないであろう。やがてそれも、この後の翻訳で見えてくるだろう。彼らは、悪魔に魂を売らないと生きていけない人々の集団である。スヴァーリのような聡明な人物が、よく人格喪失者にもならず、このように勇敢に証言してくれたことに我々は感謝すべきだろう。

親愛なるスプリンガー様、

連絡していただきありがとうございます。実は、きょう私は、あなたのサイトの情報を読んだというある人から、ちょっと疑わしい E メールをいただいたところです。本物かどうかといった疑問には、次のような条件の下で、喜んでお答えしたいと思います。私は 2 人の子供と夫を守るために、ペンネームで書いています。私は彼らに、敵意ある、また脅迫の電話などを受けさせたくないのです。私の 2 人の子供はまだ、やはりこの集団で育てられた経験からの治癒の過程にあります。そして私は、彼らにトラウマを与える可能性のあるどんな経験をも与えたくないのです。

私が取り扱う話題は、控えめに言っても、少々疑いの対象になりやすいものです。人々は、イルミナティが本当のことかどうかについて、信ずるにせよ信じないにせよ、強い感情をもちます。そう言った上で、私は少しばかり私の背景の情報を、読者の方々に気楽に公開する

ことができます。また私のコラム [www.Suite101.com](http://www.Suite101.com) (私は儀式の虐待についてコラムをもっています、[svali](http://www.Suite101.com) を検索してください) には、もっと知りたいと思われる方がおられたら、この話題について沢山の記事が出ています。

1. 私は 1957 年、ヴァージニア州アレクサンドリアで生まれました。私はワシントン DC から 1 時間ほどの小さな町に短期間住み、母が私の継父と結婚したとき、北ヴァージニアの 500 エーカーの農場に引っ越しました。母も継父もこの集団のメンバーでした。ここは非常に世襲制の強い集団です。母は、ワシントン DC 地区の地域評議会に席を占めていて、“スピリチュアル担当”でした (イルミナティには、指導階級の評議会に 6 つの椅子があります——科学、政治、指導者、学問、スピリチュアル、それに軍事)。

これらはまた、この集団で子供たちが成長しながら教育される科目に相当します。彼らは“完成した”子供を信用します。“スピリチュアル”の儀式、すなわちオカルト儀式は、この集団の教育の唯一の小さな部分ですが、他の 5 つも等しく強調されます。私は儀式を見るよりも (これはこの集団で大切なのですが)、歴史、外国語、科学を学ぶのに多く時間を費やしました。

2. 私は 1975 から 1981 年にかけて、ヴァージニア州シャーロットビルの学校に行き、そこで看護学とスペイン語の学士号を取りました。ここではまた、多くの激しい虐待とオカルト的な犯罪が行われ、それは、ヴァージニア州クロウリーへ行く途中の、シャーロットビルから南西 10 マイルあたりの、ある屋敷でした。

3. 卒業後、1981 年に、私はサンディエゴへ行きました (私はそこの指導者会議から呼ばれたのです。彼らは軍事訓練には強いが、科学には弱く、それは私の得意分野でした)。私はそこへ来て指導者会議の席に座りました。私は 6 番目 (最下位) のヘッド・トレーナーで、地方グループの 30 人のトレーナーを統率しました。指導者会議は、カリフォルニア州ラモナの、ジョナサン・マイヤーズという男の所有する屋敷で行われました。

1996 年に (私がこの集団を抜け出した後で) 警察へ行ったとき、果たして、その名前をもった誰かの所有する屋敷がありました。彼のカルト名の一つは“ブラック・ハンド”で、彼が人々を扱うときには黒手袋をはめていました。彼はこの集団のヘッド・トレーナーで、私の知っている中で、最もサディスティックで残忍な人間の一人でした。彼は、彼と一緒に働くほとんどのトレーナーを燃え尽き状態にしましたが、私は、指導者会議に彼を憎み、私が彼を負かすのを助けてくれる友人がいたので、何とか切り抜けました (イルミナティは非常に政治的な、人の背中を刺す者たちのグループで、“犬が犬を食う”という精神構造をもっています。誰もが階級を上がろうとします)。この女性のカルト・ネームは“アシーナ”で

した。

12年間ジョナサンとともに仕事をしたあとで、私はこの郡の2番目のヘッド・トレーナーの地位に昇進しました。ジョナサンは地方へ移動する準備をしており、彼は私に後を継がせようとしていました。しかし我々は互いに軽蔑してもしました。それで彼は私に罟を掛け、陥れようとしていました。こうなれば全く話は別です。そしてこれが、私にこの集団を抜け出させる要因の一つになりました。私は1995年に集団を脱出しましたが、ウソ、騙し、画策に倦み疲れ、命の危険を感じたからです。私はテキサスに逃げ、Jerry Mundgaze博士と彼のグループの治療を受けました。ところが不幸なことに、彼らは私を“脱プログラミング”する仕方を知りませんでした。あるいは博士が私に言ったように、「あなたは我々が見てきた誰をも上回り、誰よりもプログラムされている」ということでした。

私はあまりにも多くのことを覚えていました。彼はそういう例を聞いたことがなく、私をどうして助けたらよいかわからなかったのです。私は自分自身を“脱プログラミング”する猛烈な努力をしました。私はヘッド・プログラマー、あるいはトレーナーだったので、自分の知識を使って、私になされたことを消す努力をしました。私は自分が受けてきた（そして他者にも与えてきた）虐待が尋常なものでなく、私を操作することに使われていたことに気づくにつれて、怒りがこみあげてもきました。

私の本は、この集団内の一人の成人としての私の記憶に基づいています。私は悪を行う者（perpetrator）でした。そして今それをかなり悔いるようになりました。この集団がやっていることと、それが何を表すかを暴くことは、私を神の前に連れ戻すことです。私がこれを書いたのはまた、この集団とそのやり方を、セラピスト（治療家）たちに理解させるためでもあります。というのは、ある全国的に知られた儀式虐待センターに聞いても、それは難しかったからです。「私たちにはわかりません、どうしてよいか方法を知りません」ということでした。私はこれを、治癒のために私が行ったことを基にして書いています。

2年前に、私の2人の子供が私を訪ねて来て、彼らの受けた虐待を打ち明けました。私はCPS(?)に行きましたが断られました。その職員（女性）は、儀式虐待というものは信じないから、と言いました！ 私の元夫が子供を連れ戻しにやってきました。（彼は、子供を返さないことで、私を連邦刑務所に入れることもできたでしょう。なぜなら、サンディエゴの法廷は、儀式虐待は存在しないと言明していて、儀式虐待だと主張するあらゆる訴訟を、子供たちの親の虐待のせいにするのです。）

子供たちは、直接、父親と話しました。彼はシーツのように蒼白になり、「お前たちは本当に“家族”へは戻らないというのだな」と言いました。彼らは「本当だ」と言いました。そ

ここで彼はカリフォルニアへ逃げてきて、仕事を捨てました。そしてここへ移り住み、儀式虐待と DID (人格分裂障害) の治療を受けています。子供たちもまた治療を受けていて、急速に治癒しつつあります。現在 12 歳の私の息子はほとんど完全に障害を克服し、これまで以上に幸福な状態にあります。私の 16 歳の娘は、彼女が受けた性的虐待など、いくつかの困難な問題に直面しています。しかし神は、我々すべての人生において、その癒しの仕事を約束通り果たしてくださいました。

私はこれが単に「作り事」であればいいのに、本当のことでなかったらいいのに、と思います。だがそれは本当です。これが起こったという、あまりにも多くの記録文書があります。

(記録され、有罪とされた、儀式虐待事件の URL を送ることもできます。) 私の最大の悔恨は、私が、教師の生涯の後で、この集団に利用されて最悪の種類 of 犯罪者になったことです。私は、彼らを“手伝って”いると信じて、他者を拷問し虐待しました。

私は今では、自分のやったことが間違っていたと理解し、神の許しを求めてきました。そして書くことを通じて、この集団を暴露する決意をしています。私はまた、医学の分野で職業的な作家でもあり、18 年以上にわたって登録された看護師でした。そして現在は、ESL (英語を第 2 外国語とする) 教師、健康教育、フリーランス評論家 (虐待以外の問題の!) の仕事をしています。これで、私の十分な経歴の情報になればよいと思います——神と人間の前で、これは真実です。もしあなたが、これ以外に何かを必要とされるなら、どうぞお知らせください。それは私の匿名や子供たちの安全を危険にさらしはしないと思います。

心をこめて、スヴァーリ

PS. 私の妹は、3 歳のときに石の祭壇上に縛られて、猿ぐつわを嚙まされ、レイプされたことを覚えています。彼女はまた、我々の父方の祖父が、彼女を友人たちのところに連れていき、その人たちが彼女を、3 歳から 5 歳の年齢で、性的に利用したことを思っています。彼女は 12 歳になるまでに 7 度自殺を試みた後、13 歳でアル中患者になりました。私の兄は、20 歳より前の記憶は、まったく何一つありません。彼の人生は完全なブランクです。彼は我々の父が偏屈で奇妙な男だったと信じています。この兄は 8 歳のとき、家族が車で出かけるとき彼だけ残されたことがあり、首を吊ろうとしました。

私の一番上の兄は、どんな場所にも数か月以上住むことを恐れて、ずっと逃げています。彼らが“彼を捕まえにくる”と信じているのです。彼もまた、幼い子供のときに何度も自殺を試みました。これもある程度、傍証になるでしょう。また私の子供は 2 人とも、夜にはドイツ語で夢を見ますが (ドイツ語は高位のイルミナティの話す言葉です)、昼間、使っているのを聞いたことが全くないのです。

